

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

第四期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価に係る評価委員会の意見について

- 1 第四期中期目標期間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の業務の状況は、「優れた業務の達成状況にある」と認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。
 - ・ 外部資金導入研究については、採択件数と歳入総額が第四期中期目標期間中高い水準を維持しており、評価できる。引き続き積極的に外部資金を獲得することで、中小企業への支援内容の充実につなげることを期待する。
 - ・ 知的財産については、実施許諾の件数を着実に伸ばし、中小企業の製品開発につなげている点が評価できる。より組織的・戦略的な知的財産管理に取り組むことを期待する。
 - ・ 社会情勢の変化に応じて、公設試験研究機関として期待される役割が多様化する中でも、都内経済の基盤となるものづくり中小企業へのきめ細かな支援を継続し、将来にわたる技術の承継を後押しすることが望まれる。
- 2 第五期中期目標における事業展開に向けては、都産技研が次の取組を推進することを期待する。
 - ・ 多様な広報活動により支援内容や研究成果等を効果的に発信し、都産技研のプレゼンスを向上することで、より多くの中小企業の利用を促進することが望まれる。
 - ・ 中小企業の製品化・事業化を優位なものとするためにも、社会や経済の動向を調査・分析し、中小企業の支援に活かしていくことが望まれる。